

京都大学教育研究振興財団助成事業  
成果報告書

平成28年 8月4日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団  
会長 辻 井 昭 雄 様

所属部局・研究科 文学研究科・行動文化学専攻・社会学専修

職名・学年 博士後期課程3年

氏名 中村昇平

助成の種類	平成28年度・若手研究者在外研究支援・国際研究集会発表助成		
研究集会名	第3回国際社会学会社会学フォーラム		
発表題目	近隣コミュニティへの帰属意識とエスニシティの観念		
開催場所	オーストリア・ウィーン・ウィーン大学		
渡航期間	平成 28年 7月 9日 ~ 平成 28年 7月 16日		
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )		
会計報告	交付を受けた助成金額	350,000円	
	使用した助成金額	350,000円	
	返納すべき助成金額	0円	
	助成金の使途内訳	航空運賃・移動交通費	205,949円
		宿泊料	124,593円
参加登録料		22,387円	
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。)		

## 成果の概要／中村昇平

集会の名称：第3回国際社会学会社会学フォーラム

主催者：国際社会学会

開催期間：平成28年7月10日～14日

開催地：オーストリア・ウィーン・ウィーン大学

社会学の学会としては世界最大規模の国際社会学会（ISA）が4年に一度開催する本研究集会は、49の研究・コミッティ（RC）と4のテーマ・グループ（TG）、4のワーキング・グループ（WG）がそれぞれ複数のパネルを開催する。申請者はこのうち、レイシズム、ナショナリズムとエスニック関係に関するRC05（Research Committee for Racism, Nationalism and Ethnic Relations）が主催する15のパネルのうち、「大都市における日常の境界（Everyday Bordering in the Metropolis）」と題されたパネルで口頭発表を行った。当該パネルの6の発表のうち4つまでが欧米諸国の事例を取り上げる中で、東南アジアの事例を扱う本発表は重要な位置を占めた。また、他の発表が日常的境界設定に関する支配者やマジョリティの側からの制度や技術に焦点を当てる中で、本発表は上からの境界設定を無効化する、生活者の日常実践に注目した上で、そうした実践の局面のみではなく実践を基礎付けている日常的認識枠組みや生活世界のあり方をも包括的に説明した。

本発表では、インドネシア、ジャカルタにおけるブタウィ・エスニシティの事例に則して、近代国民国家がネイションの下位集団として策定するエスニシティという抽象的な分類概念と、日常生活において認識・表象される近隣コミュニティへの帰属意識との関係を考察した。本発表の目的は2つあった。まず、「〈顔〉のみえる」コミュニティとして想像される近隣地域への帰属意識に関する人々の日常表象を考察することで、制度的なエスニシティ概念の強い影響下にありながら、抽象的範疇には回収しきれない、日常生活次元における集団帰属意識の重層性を描き出すことである。こうした考察を通して、本発表の事例においては、エスニシティという抽象的観念への人々の帰属意識が常に小規模近隣コミュニティへの帰属意識との関連において認識・表象されているということを確認した。エスニシティという抽象的カテゴリーも小規模な近隣コミュニティも究極的には想像された共同体であるが、その想像のスタイルは大きく異なる。本発表の第二の目的は、こうした小規模な「〈顔〉のみえる」コミュニティがどのように想像されるのかということに関して、本発表で事例として取り上げた日常的意識・表象に即して、ブタウィ・エスニシティという概念との関係において詳細な考察を加えることであった。こうした考察を通して、本発表では、集落コミュニティに対する帰属意識が保たれることが、エスニシティによる境界設定を突き崩した

めの足がかりを担保するものであると結論付けた。

東南アジアの大都市の事例から制度的人種分類を突き崩す人々の日常実践を提示する本発表と、欧米の人種差別的制度化の事例研究とが比較の俎上に載せられることで、パネル主催者が意図していたものよりも、人種エスニシティ研究の視野が広がったようだった。こうした視点が国際的な議論の場で醸成され続けていけば、日本の社会学・人文地理学・文化人類学で行われる人種エスニシティ研究の議論にも重要な示唆を与えるだろう。